

株式会社 ミツバ環境ソリューション

環境経営レポート 2023



株式会社ミツバ環境ソリューションは、環境測定、調査・解析、ISOコンサルティングの専門企業です。
半世紀にわたる自動車部品製造で培われた、環境技術・品質・材料技術・分析技術だからこそできる経営支援！

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

私たちが取り組むこと



私たちは、
地域と地球の環境に
配慮した事業者です

活動期間 : 2023 年 4 月～2024 年 3 月

発行日 : 2025 年 1 月 15 日

《目次》

I. 環境経営方針	P-1
II. 会社概要・事業内容	P-2
III. EA21 推進体制	P-3
IV. 環境目標とその実績	P-4
V. 環境活動の取組と評価、トピック	P-5
VI. 中期目標の設定	P-10
VII. 環境関連法規制の遵守状況	P-10
VIII. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-11

I．環境経営方針

株式会社ミツバ環境ソリューションは、環境計量、分析、解析、コンサルティング、自家用電気工作物の保安管理業務、省エネ診断などの事業活動を通じて、自然環境と社会の継続的な共生を図り、豊かで環境に優しい社会づくりに貢献します。

- 1．私たちは、事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物削減等の環境保全活動を展開し、継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
- 2．私たちは、化学物質及び薬品の取扱、管理を徹底し、環境保全に努めます。
- 3．私たちは、環境関連法令、条例、諸規則及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。
- 4．私たちは、環境目的及び目標を設定し、それらを達成するための活動計画を策定し、実行し、結果の評価及びシステムの定期的な見直しを行います。
- 5．私たちは、環境保全に関する意識の向上を図るため、全ての従業員に環境経営方針を周知し、環境教育等の啓発活動を実施します。
- 6．私たちは、環境の専門家として顧客や地域社会と積極的にコミュニケーションを図るとともに環境ソリューションの提供に努めます。

2023年6月1日

株式会社ミツバ環境ソリューション
代表取締役 奈良 幸治

Ⅱ．会社概要・事業内容

1. 事業者及び代表者名

株式会社ミツバ環境ソリューション
代表取締役 奈良 幸治

2. 所在地

〒376-0122 群馬県桐生市新里町野 598 (株式会社ミツバ新里工場内)

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者： 代表取締役 奈良 幸治
環境管理責任者： 常務取締役 清水 敬祐
担当： E A 2 1 推進事務局 高田 貴
連絡先： TEL 0 2 7 7 - 7 4 - 5 9 5 8
FAX 0 2 7 7 - 7 4 - 5 9 7 3
ホームページアドレス： <http://www.t-clover.co.jp>

4. 事業、サービスの内容、活動内容

環境計量証明事業、作業環境測定事業、環境マネジメントシステム
構築支援コンサルティング及び材料分析業務、自家用電気工作物の
保安全管理業務の受託事業、省エネ診断業務

5. 認証・登録範囲

株式会社ミツバ環境ソリューション 全組織、全活動

6. 事業規模

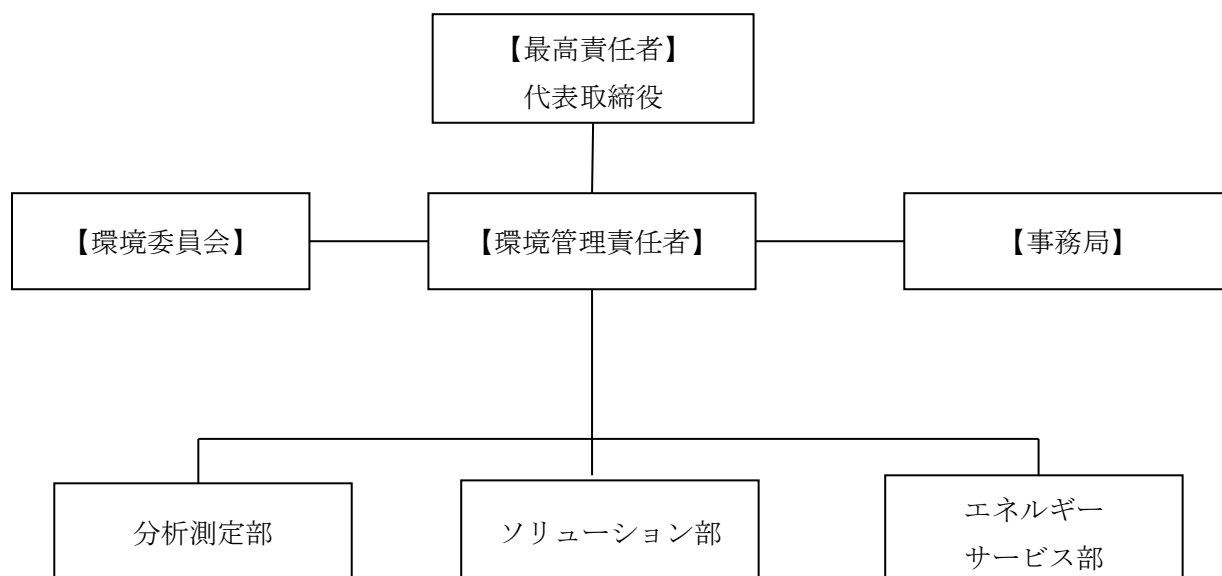
- (1) 従業員数 : 42 名
- (2) 延べ床面積 : 340 m²
- (3) 資本金 : 4,000 万円



7. 対象期間

第 26 期 (2023 年 4 月～2024 年 3 月・2023 年度)

Ⅲ. E A 2 1 推進体制



職名	役割
最高責任者	① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当する責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。 ③ 環境経営方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。
環境管理責任者	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

IV. 環境目標とその実績

1. 2023 年度(26 期)の目標と実績について

環境経営目標項目	単位	基準値 24 期 (二酸化炭素の み 21 期)	目標 26 期	実績 26 期	中長期 目標 (25～27 期)
二酸化炭素排出量 の削減	総量 kg-CO ₂	36,616 (21 期実績)	34,419 6%削減	32,746 10.6%削減	21 期実績 9%削減
廃棄物の削減 (可燃ゴミ)	kg/百万円 (総量 kg)	2.55 (505)	24 期実績を 超えない	2.13 (523)	24 期実績 を超えない
水資源投入量の 削減	m ³ /百万円 (総量 m ³)	0.17 (33)	24 期実績を 超えない	0.12 (30)	24 期実績 を超えない
自社ブランド化と 認知度の拡大* (新規顧客数)	新規顧客数	—	25～27 期末 までに 合計 90 件	25～26 期 累計 146 件	合計 90 件

※二酸化炭素排出量の削減目標は、(株)ミツバの要求事項である 2018 年 (21 期) 対比毎年 3%削減に準ずる。

二酸化炭素排出係数:0.455 kg-CO₂/kWh 2018 年度 東京電力パワーグリッド 調整後排出係数

※弊社では化学物質の使用量は極少量となります。適切に試薬類を管理する(毒劇物の管理等)ことで化学物質の取り扱いに関する環境経営目標としています。

※2013 年度から「自社ブランド化と認知度の拡大」を環境目標に策定しています。

※水使用量について、弊社はミツバ新里工場の一部施設のため、水道メーターが設置されていません。

そのため、水分析業務に使用する純水製造装置は、1ℓ の純水を製造するために 60ℓ の水道水を消費することから、純水の製造量に 60 倍して水道水の使用量を算出しています。

また、この装置の冷却水は循環型を採用しており、回収した冷却水を試験器具の洗浄に再利用しています。

V. 環境活動の取組と評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組計画	評価
目標:2018 年度(21 期)の実績に対して 6%削減する。 『実施事項』 ① 低燃費車の導入 ② ガソリン燃費監視、運航効率化 ③ 使用電力量の監視 ④ 事務所稼働時間の短縮 ⑤ 社用車オイル交換・空気圧チェック ⑥ エアコンの効率の良い運転、清掃	◎ 総量で <u>10.6%削減</u> 26 期は排出総量で削減できました。 一部の照明の LED 化、低燃費車の導入及 びエコドライブの推進が大きく貢献した。
次年度の取組内容 二酸化炭素排出量 総量での削減を目指し ・低燃費車の導入 ・社用車の効率的な運用により燃費向上、ガソリン購入量の削減を目指す。 ・LED 電灯の導入を計画・エアコンの設定温度の見直し、 ・退出時間が早くなるよう計画的、効率的な業務を心がける	



低燃費車の導入：9 台中 6 台がハイゼットおよびミライース
低燃費・アイドリングストップを搭載している。



エアコン省エネ機器取付①



エアコン省エネ機器取付②



一部の照明を LED に交換

2. 廃棄物の削減

取組計画	評価
目標:2021 年度(24 期)の可燃ごみの排出実績を超えない 『実施項目』 ① コピー用紙裏紙利用状況監視 ② 雑誌の持ち帰りの実施 ③ 廃棄物量の監視	△ 原単位で 16%削減 総量で 3.4%の増加 業務量の増加に伴い、排出量が増加したが、電子化の推進によりコピー用紙の削減を実施した。
次年度取組内容 ・ゴミの分別に努め、可燃ごみの排出量の削減に取り組む。	

3. 水資源投入量の削減

取組計画	評価
目標:2021 年度(24 期)の水資源投入量を超えない 『実施項目』 ① 蒸留水製造装置冷却水の再利用 ② 使用量の監視	◎ 原単位で <u>29.4%の削減</u> 総量で 10.9%の削減 試験器具の洗浄には、集めた冷却水を利用し節水に努めました。
次年度取組内容 ・水使用量の監視を続け、冷却水の再利用を行う(継続)。	



蒸留水製造装置冷却水再利用

4. 自社ブランド化と認知度の拡大

取組計画	評価
目標：新規顧客数 27 期末までに 90 件 『実施項目』 ① ブランド化についての検討 ② セミナーの開催 ③ メールマガジン発刊(隔月)	◎ 25～26 期累計 146 件 26 期は新たな業務、「マスクフィットテスト」、 「SDGs 構築支援」等により多くの新規顧客を接 する機会を得ました。ありがとうございました。
次年度取組内容 ・メールマガジンの発行(継続) ・当社企画のセミナー開催など、ブランド化の検討を進める(継続)。	

5. 化学物質管理

取組計画	評価
目標：毒物管理 『実施事項』 ① 薬品(毒物)管理の実施	◎ 毒物及び劇物について、毎回の使用記録を 残すとともに、定期的な在庫管理により薬品の 管理を行っている。

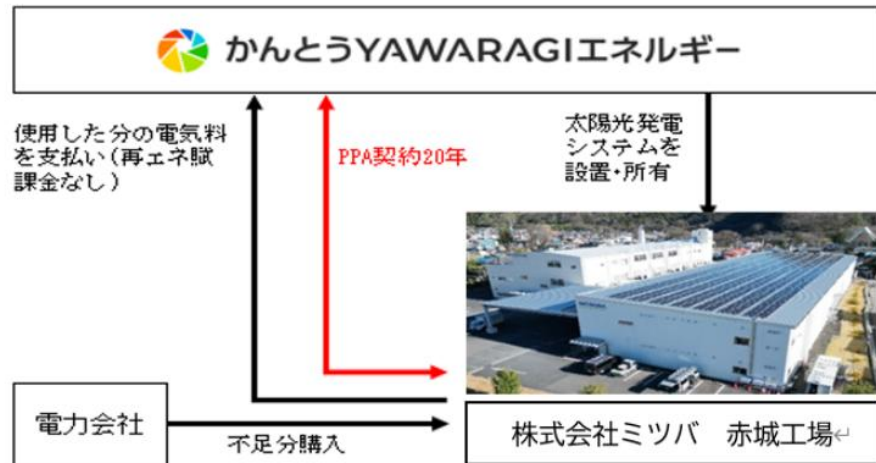
6. トピックス

① (株)ミツバ 赤城工場へ設置 2024年1月竣工!!

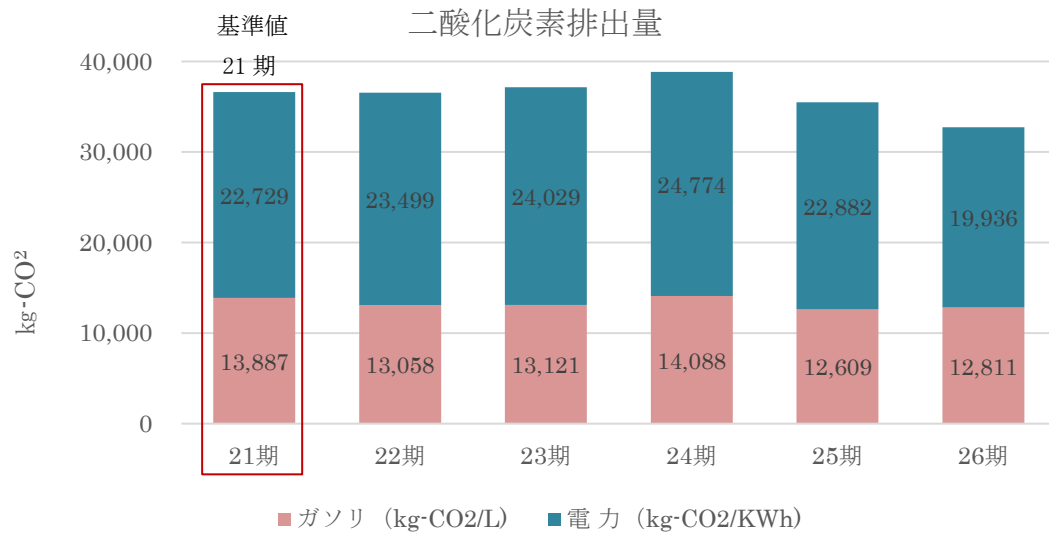
2022年7月、(株)ミツバ環境ソリューションは共同出資し新たな会社を立ち上げました。それが、「かんと YAWARAGI エネルギー株式会社」です。

そして、親会社である(株)ミツバの赤城工場でPPA（電力供給契約）により太陽光発電システムが設置され、2024年1月に竣工し発電・受電を開始することができました。

ホームページ： <https://kanto-yawaragi-energy.com/>



② 二酸化炭素排出量の分析



二酸化炭素の主だった発生源となるガソリンと電力から排出量を比較すると、**26期**は**21期**よりも排出量は**10.6%**少なくなりました。電気とガソリンの比率は数年間ほぼ変化がありません。次年度以降はエアコンの温度設定の見直しや効率の良い車両の運転コースの選択、局所排気の運転方法の検討を行い排出量削減に取り組めます。

VI. 中長期目標の設定

環境目標項目	単位 /売上高当たり	基準値 24 期 (二酸化炭素 のみ 21 期)	25 期 実績	26 期 実績	中長期 目標 (25～27 期)
二酸化炭素排出量 の削減	総量 kg-CO ₂	36, 616 (21 期実績)	35, 491	32, 746	年度毎 3%削減 27 期までに 9%削減
廃棄物の削減 (可燃ゴミ)	kg/百万円 (総量 kg)	2.55 (505) (24 期実績)	2.34 (522)	2.13 (523)	24 期実績 を超えない
水資源投入量の 削減	m ³ /百万円 (総量 m ³)	0.17 (33) (24 期実績)	0.12 (26.3)	0.12 (30)	24 期実績 を超えない
自社ブランド化と 認知度の拡大 (新規顧客数)	新規顧客数	—	80 件	累計 146 件	25～27 期末までに 合計 90 件

二酸化炭素排出係数： 電力 0.455 kg-CO₂/kWh 2018 年度 東京電力パワーグリッド 調整後
ガソリン 2.272 kg-CO₂/L

VII. 環境関連法規制の遵守状況

1. 当社に適用となる環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
水質汚濁防止法	特定施設設置届の提出(71-2 イ洗浄施設) 排出基準、 構造基準の遵守 、 日常点検の実施 。	遵守
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	産業廃棄物保管基準、運搬・処分委託、産業廃棄物管理票の交 付・保管・交付状況報告	遵法
毒物及び劇物取締法	取扱、表示、事故時の措置	遵法
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任、作業環境測定の実施、 化学物質管理者	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検の実施遵法 、(冷蔵庫及びインキュベータ)	遵法
消防法	火災の予防、防火体制の整備	遵法
利害関係者からの要求 (株)ミツバ	構内運行速度、アイドリング・ストップ、夜間排水禁止、夜間の廃棄 物保管庫への排出禁止、二酸化炭素排出量削減	遵守

2. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規への違反はありません。

VIII. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

26 期は二酸化炭素排出量の削減が順調に行われました。

排出量削減の主な要因として、設備の入替えがあります。エアコンと LED の導入により大幅な削減を達成することができました。

弊社もすべて設備を入れ替えたわけではないので今後、修繕の可能性があれば省エネタイプの導入を優先的に考慮していきたいと思います。

廃棄物の排出量が削減できずに終わってしまいましたが、今後は分別の種類を明示してより分別回収、業務以外のごみの持ち帰りを進めたいと思います。

今後、環境活動は社内のもう一つの活動である「労働衛生委員会」と連携を深める形で進めていくことを指示しました。今後、また新たな実施体制が徐々に構築されていくことを期待します。



発行: (株)ミツバ環境ソリューション 環境委員会